



Cisco Virtualized Voice Browser

- [新機能 \(1 ページ\)](#)
- [更新済み機能 \(2 ページ\)](#)
- [特記事項 \(3 ページ\)](#)
- [廃止された機能 \(3 ページ\)](#)
- [削除され、サポートされない機能 \(3 ページ\)](#)
- [サードパーティ ソフトウェアの影響 \(3 ページ\)](#)

新機能

ブリッジ転送

以前のリリースでは、Cisco VVB は、VXML アプリケーションが IVR セッションに必要な SIP エンドポイントに転送する方法として、ブラインド転送をサポートしていました。このリリースでは、Cisco VVB によって VVB アプリケーションにブリッジ転送機能が追加されています。ブリッジ転送を実装すると、VVB が IVR セッションを SIP エンドポイント (CUCM、エージェント、またはサードパーティの IVR) に転送し、メディアパスの制御を維持することができます。

接続中または接続状態でのブリッジ転送を終了するには、Call Studio ブリッジの転送用語文字で指定されている通り、単一の DTMF デジットを挿入します。別の IVR にブリッジングを行う場合は、用語文字を設定しないことを推奨します。CUCM で設定されたルートハントに適用される着信および宛先ダイヤルピア (または DN) は、同じパターンにすることはできません。



- (注)
- ブリッジ転送は、G711 u-law および G711 A-law でのみサポートされています。
 - ブリッジ転送では、SIP URI のみがサポートされています。
 - ブリッジ転送は TLS/SRTP をサポートしていません。

ASR-TTS の多言語サポート

以前のリリースでは、ASR-TTS サーバに統合された VVB 統合を 米国英語 の言語の文脈でのみ使用することができました。リリース 12.0 からは、統合された ASR-TTS サーバがサポートするすべてのロケールと、Unified Call Studio スクリプトの適切なロケールおよびエンコード設定を使用することができます。



- (注)
- ロケール形式のサポート: ISO639 および ISO639-2
 - エンコードのサポート: ISO-8559-1 および UTF-8。UTF-8 は、MRCPv2 でのみサポートされています。

音声録音サポート

Cisco VVB では音声認識がサポートされるようになり、ユーザは音声操作の内容を録音できるようになりました。

キャッシング (Caching)

このリリースでは、以下の通りです。

- キャッシュアルゴリズムは、より高速にキャッシュされたエントリへアクセスできるように最適化されています。
- キャッシュでは、HTTP 最大有効期限属性がサポートされています。

更新済み機能

機能拡張

- Packaged CCE 展開モデルでは、構成および管理に VVB AppAdmin の代わりに Unified CCE 管理ユーザ インターフェイスが使用できるようになりました。
- **NR11 の使用のサポート:** Cisco VVB は、Nuance NR11 と互換性があり、音声認識/NLU に基づいた AI IVR ベースのアプリケーションを実現します。
- **2048 ビット暗号化のサポート:** Cisco VVB では、2048 ビットの暗号化がサポートされています。
- **セキュリティの強化:** Cisco VVB では、SIP および RTP で QoS がサポートされるようになりました。
- 設定と管理のための REST API:

- **システムパラメータ設定 API:** Cisco VVB で、REST API を使用した TLS/SRTP/暗号のシステムパラメータの設定がサポートされるようになりました。
- **メディアパラメータ設定 API:** Cisco VVB は、REST API を使用したシステムプロンプトのオーバーライド、コーデック、MRCPバージョンのメディアパラメータの設定をサポートするようになりました。
- イベント処理が拡張されています。
- UII/AAI 処理が転送シナリオで処理されます。
- Audio の FetchAudio 属性では、loop属性と starttime 属性がサポートされるようになりました。
- VXML 2.0/2.1 の準拠の強化。
- トランスクリプションの文法サポート。

特記事項

なし。

廃止された機能

なし。

削除され、サポートされない機能

なし。

サードパーティソフトウェアの影響

なし。

